



2022年11月号 205号



しゃきょう 社協だより

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888



三宅中学校第2学年の皆さんと「絵本を届ける運動」を行いました！



令和4年9月9日、国立三宅中学校第2学年を対象にシャンティ国際ボランティア会が行う「絵本を届ける運動」を総合学習の一環として体験してもらいました！日本の美しい絵本にカンボジア・ラオス・アフガニスタンの言葉に翻訳されたシールをページごとにハサミで丁寧に切って絵本に貼っていくというものでしたが、みんな集中して

取り組んでいる姿が印象的でした。そして夏にエスエス製薬(株)サポーターズの皆さんから届いたメッセージカードも中学生の皆さんに配らせていただき、実際に思いやるキモチを形として受け取る側のキモチも体験してもらいました。規模の大小はあるかもしれませんが、今回、実際に「想いを届けるキモチ」と「想いを受け取るキモチ」を体験することで、その「キモチ」に大小はないということを感じてもらえたら嬉しいです！普段の何気ない生活の中でも、自分たちのできる範囲で誰かにできるボランティアは皆さんが思う以上に身近にあるので、次は皆さんの「キモチ」で誰かに「思いやり」を届けることができれば素敵だなと思います。今回、ボランティア活動に参加してくれた第2学年の皆さん、三宅中学校の先生方、シャンティ国際ボランティア会の皆さん、ご協力本当にありがとうございました！（杉本）

三宅中学校第2学年の皆さんが選んでくれた絵本たちです！機会があれば読んでみてください！

『おかあさんといっしょ』 藪内 正幸 作、福音館書店 『木』 佐藤 忠良 画、木島 始 文、福音館書店 『ゆき』 ユリ・シュルヴィッツ 作・絵、さくま ゆみこ 訳、あすなろ書房 『かなしみがやってきたら きみは』 エヴァ・イーランド 作、いとう ひろみ 訳、ほるぷ出版 『ミリーの すてきな ぼうし』 きたむら さとし 作、BL出版 『じゃぐちを あけると』 しんぐう すずむ 作、福音館書店 『かぞえてみよう』 さかざきち はる 作、白泉社 『りんごがひとつ』 いわむらかずお 作、童心社 『きんぎょが にげた』 五味 太郎 作、福音館書店 『そらいろのたね』 なかがわ りえこ 作、おおむら ゆりこ 絵、福音館書店 『わたしのワンピース』 にしまきかやこ 作、こくま社 『たまごのあかちゃん』 かんざわ としこ 文、やぎゅう げんいちろう 絵、福音館書店 『オリバーくん』 R・クラウド 文、J・アルエゴ 絵、A・デュウエイ 絵、長谷川四郎 訳、ほるぷ出版 『おふねに のって』 スギヤマ カナヨ 作、赤ちゃんとママ社 『きょうりゅうたちのおやすみなさい』 ジェイン・ヨーレン 文、マーク・テイグ 絵、なかがわ ちひろ 訳、小峰書店



10月27日～11月9日は読書週間です！



社協職員のおすすめの本を紹介します！

秋が深くなり、だんだんと冬の足音が聞こえ始める季節となりました。コロナ禍の中、自宅で休日を過ごす時間が増えてきて以前より読書が身近になっているかもしれませんが、読書週間が始まっているということで昨年に引き続き今年も11月号では事前に社協職員にアンケートを取り、おススメの本を紹介してもらいました！絵本、写真集、小説などなど…たくさんのおススメしてくれました！皆さんも気になる本があれば、是非読んでみてくださいね。読書週間とは…終戦まもない1947年（昭和22）年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、昭和22年11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていききました。

ONE PIECE

尾田栄一郎

最近、映画が大ヒットしているあれです。原作漫画は1997年から連載しています。海賊の大冒険の物語ですがどこから読んでも楽しめます。仲間とは？自由とは？血のつながりを越えた愛や仁義など、自分もこうあれたら…。と憧れている作品です。ファンは多いと思うので改めて紹介するのは迷いましたが、とても励まされているので、おすすめとして紹介させていただきました！

福本有紀子

60歳から

やりたい放題

和田 秀樹

歳を取ると、将来に対する不安が多くなってきます。でも、60代からは「やりたい放題」に生きることこそが若々しさを保ち、頭の回転も鈍らせないための秘訣だと著者は言っています。これからどのように人生を歩んでいくか悩んだりした事も老いていくだけの人生ではなく、まだまだやりたいことがと気づかされた作品でした。2022年、大ベストセラーの「80歳の壁」など著書多数あります！

小室 美幸

ソネット集

シェイクスピア

シェイクスピアの詩集です。海外文学はあまり読むことがないのですが、この詩集は大学生の時に会って以来持ち歩き、気ままに開いたページを読んでいます。どの詩も美しく強い言葉で綴られていて、すぐにシェイクスピアの世界に連れて行ってくれる本です。ぜひ、みなさんもシェイクスピアの世界を楽しんでみてください。

石塚 未奈

ロボット・イン・

ザ・ガーデン

デボラインストール

今年映画化された「タング」の原作です。ポンコツロボットとさえない中年男性の冒険ストーリーです。人間の子どものようなロボット「タング」の存在が周りの人を変えていく、人と人をつなげていく素敵なお話です！

五十嵐 絢子

R62号の発明・

鉛の卵

安部 公房

おすすめとして挙げさせていただいたのは短編集の表題で「R62号の発明」と「鉛の卵」もその中の作品のひとつです。短いながらも荒唐無稽なフィクションと思いつつも世間の裏側でもしかしたらこんな話があるのかも→

→よぎったり、令和になった今となっては感じられるレトロフューチャーな雰囲気が独特の読後感を誘ってくれます。今回紹介させていただいた作品のほかの話も著者が持っている世界観や人間社会への見方が楽しめる作品ばかりなのでSF（少し不思議）を楽しみたい方におすすめです！

柳川真広

それでも
あなたの道を行け

ジョセフ・
プルチャック

北アメリカや先住民たちの知恵の言葉が書かれた本です。20年以上前に本屋で表紙とタイトルに惹かれて購入したのですが、たまにふと読み返したくなります。

少し疲れた時に、心がスラ〜っと軽くなる一冊です！

杉本 慶子

80歳の壁

和田 秀樹

「この本いいわよ」と利用者様から紹介され、上京した時に買いました！考え方がすごく前向きなので、年齢問わず読むといいです。元気が出て免疫力を解決してくれる本です！

池田 弘子

魔法の
てぬきおやつ

てぬキッチン

レシピ本です。本当に簡単！本当にてぬきができてそれでいてちゃんと美味しいおやつが作れます！もともと「てぬキッチン」さんはYouTubeでレシピを紹介していて、その動画をよくチェックしてはまねをしてお料理やお菓子を作っていました。「餃子の皮でとろ〜りアップルパイ」そろそろリンゴの季節。また作ろうかな♪リンゴを切ってチンしてお砂糖とバター混ぜてもう1回チン→それを餃子の皮に包んで揚げ焼きにしてできあがり！ほかのメニューもとっても簡単です！

窪田 清美

新参者

東野 圭吾

秋の読書と言ったら…ミステリー！とは言ってみてもミステリー物はあまり読んだことはありませんが、その中でドラマ化されることも多い東野圭吾さんのミステリーは何冊か読むことができました。「新参者」は、刑事である主人公加賀恭一郎を中心に様々な人間模様を巧みに織り交ぜていくお話で、読み進むうちにその世界観に魅了されました！

早川 信

ステキな本を紹介してくれた社協職員の皆さん、

ご協力本当にありがとうございました。

たすけあい資金貸付について

三宅島社会福祉協議会には昭和43年の法人設立以来、指定寄付金を原資に不慮の出来事等により、一時的に生活に困窮し日常生活が困難となった低所得世帯で、他から資金を借り入れることができない世帯に対して、生活の安定と世帯の自立を図ることを目的とした「たすけあい貸付資金」制度があります。貸付対象者は原則三宅村に住まわれている方です。また、三宅村に住む連帯保証人を1名立てていただきます。貸付対象者及び連帯保証人は返済の見込みが確実な方となります。また、完済まで本会及び関係機関が、関わりをもつことに同意いただき、民生委員の方の審査も必要です。貸付金額は、一世帯当たり10万円を上限に、2カ月以内の据置期間を置き1年以内に返済となります。(無利子)近年、貸付は審査が厳しくなり貸付件数は非常に少なくなっておりますが、お困りの時は一度社協へ相談ください。

障がい福祉 いぶきだより



開所日時:月・水・木(10:00~15:00)

三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です!

11月のいぶき活動

緑化活動 2・9・16・30日(全水曜日)

外出支援 17日(木曜日)

過ごしやすい気温や天気が続くようになったため、少しでも運動の機会となるよう散歩に行く回数が増えました。腰や足が痛くても休憩を取りながらしっかり目的地まで歩かれています!少しずつの積み重ねが大事だと皆さんが教えてくださっています。



ちけん通信

Vol.42 遺言書について教えてもらえますか?

Q.

遺言書について
教えてもらえることはできますか?

そうだ!

★社協の地権に

相談して

みよう!

地権担当のヤナガワです。ご質問ありがとうございます!遺言書作りは正しい書式がどのようなものか迷ったり、どのような形でご意思を遺すか悩んだりしてしまいますよね。地権事業では弁護士や司法書士など法律の専門家への相談のお繋ぎや遺言書の内容について一緒に考えるお手伝いを行っております。また、三宅島社協で無料配布している「エンディングノート」ではこれまでの生活の振り返りやこれからの暮らしについて考えていただく内容となっております。弁護士の方に寄稿いただいた遺言書に関するコラムも掲載しておりますのでお手に取っていただけましたら幸いです。社協窓口での配布のほか、ご自宅へお届けしておりますのでお気軽にお問い合わせください!



「地権(ちけん)」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。

上記のような心配ごとや不安ごとがございましたら三宅島社協地権担当:柳川(やながわ)【直通 8-5883】まで!

地域の掲示板

三宅島巨樹の会 ~第3回雄山植樹会 2022~

日時:11月6日(日)9:00~11:30

集合:雄山元レストハウス駐車場集合

参加:無料 締切:11月4日(金)

お弁当用意のため、事前申し込みをしてください。

汚れても良い服装・歩きやすい靴・あれば軍手・クワをご用意ください。

代表:佐久間 文夫 電話:090-6875-5627